

勉強を聖化するための 聖ホセマリアの10 の助言

私たちはイエス・キリストとともに勉強し、主の助けによって徳において成長し、他者の役に立つ存在になることができます。

2025/10/20

1. 十字架を置く

仕事を始める前、仕事の道具のそばに、あるいは机の上に十字架像を

置きなさい。時々その十字架像に視線を向けるのだ。疲れた時に、目をキリストの方に向けると、再び仕事を続けるための力が湧いてくるだろう。

十字架像は、両親や子供、妻、恋人など、愛する人の肖像画以上のものだからだ。キリストはすべてである。あなたの父、兄弟、友人であり、あなたの神である。あなたのすべての愛の主である御方なのだ。

（『十字架の道行』第11留、5番）

.....

2. 今日、そして今

今日の仕事を明日まで放置するな。

（『道』15番）

.....

3. 最後の石を置く

あれこれに手を出すかわりに、今ある計画の一つでいいから最後までやり遂げなさい。

(『道』 42番)

4. 意向を持つ

あなたにとって大切なことは、勉強することである。時間を活用しようと百回も千回も決心するが、ちょっとしたことにもすぐに気を散らしてしまう。意志の弱さを思い知って、時には自分で自分が嫌になる。毎日毎日、やり直してはいるのだが…。具体的な使徒職の意向のために、勉強を捧げてみたことがあるだろうか。

(『拓』 523番)

5. 努力をイエスに捧げる

勉強するのが辛いときには、その辛さをイエスに捧げなさい。そして、勉強を続けます、私の知識が、敵を打ち破り、あなたのために大勢の人を獲得するための武器になりますように、と申し上げなさい。それができれば、あなたの勉強は祈りになりつつあると確信してよい。

(『拓』 619番)

6. なすべきことを行い、していることに集中する

本気で聖人になりたいのか。各瞬間の小さな義務を果たしなさい。すべきことをし、今していることに専念しなさい。

7. 時間を活用する

頼むから、時間を活用しなさい。呪われた無花果のことを忘れないようにしなさい。あの無花果とて何もしなかったわけではない。葉を生き茂らせていた。あなたと同じ…である。わけがあるなどと言わないでほしい。福音史家が語るように、主が実を求めて近づかれた時は、無花果の時期ではなかったが、理由にはならなかった。

あれ以来、永久に実らぬ木となったのだ。

8. 勉強は重大な義務

あなたは祈り、犠牲を捧げ、使徒職に関わる多数の仕事に手を出しているが…、勉強はしない。勉強しなければ、役に立つことはできない。勉強も職業上の形成も、何であれ、私たちの間では重大な義務である。

(『道』 334番)

.....

9. 神と交わることにも同じ熱心さを

そこまで精を出して勉学に励むのはよいことである。ただし、常に、同じように精を出して内的生活に励みなさい。

(『道』 341番)

.....

10. 落胆しない——神は決して敗北しない

決して忘れないように。たとえすべてが駄目になったように思えるときも、本当は何も駄目になっていないのである。神が戦いに敗れることはあり得ないのだから。

(『鍛』 332番)

.....

pdf | から自動的に生成されるドキュメント
<https://opusdei.org/ja-jp/article/sei-hosemaria-benkyo-jyogen/> (2026/03/20)